

災害廃棄物の広域処理に関して住民の健康不安を解消するための対策を求める請願

【請願要旨】

東日本大震災で被災した地域の復興は、私たち町田市民にとっても切なる願いであります。復興支援の名のもとに、災害廃棄物の広域処理を安易かつ拙速に行う事は、放射能汚染を日本全土に拡大させ、国民、都民、町田市民を逃れようのない被ばくの連鎖にさらしてしまう、復興とは正反対の行為になってしまうことが懸念されます。

真の復興支援とは、自主避難者も含め、被災地から避難してきた人たちを支援し、福島そのものとも言える、「人」を守ることではないでしょうか？間違った形での復興支援が不幸な事態を生まないために、町田市は以下の点について、真摯かつ真剣に取り組んでください。

【請願項目】

1 責任の所在について：

町田市内で行われる災害廃棄物の焼却により、線量の上昇、環境、健康への影響があった場合、国、東京都、町田市のいずれが責任を負うことになるのかを、国と東京都に問い、文書で回答を得てください。

2 住民説明会について：

- ・開催の案内は様々な媒体を駆使し、十分な時間をとって、開催に関する周知を徹底してください。
- ・質疑応答の時間を十分に取り、住民からさらなる説明会の開催要求がある場合は、誠意を持って対応してください。
- ・住民との合意を形成することに最大限の努力を払い、十分な議論ができる場にしてください。

3 焼却実験について：

- ・排ガスから放射性物質が拡散する可能性について、捕捉量及び検出限界値の精度、フィルターの性能、各種の気象条件の影響などに関する焼却実験を行い、その段階で詳細かつ科学的な検証を行ってください。
- ・焼却実験は、町田市民および専門家に公開して行ってください。

4 安全対策について：

- ・放射線測定については女川町での事前調査の水準を確保し、各処理の工程ごとに、詳細な放射性物質の測定と厳重な監視体制をとってください。
- ・捕捉量及び検出限界値の精度、フィルターの性能、各種気象条件の影響などにより排ガスから放射性物質が拡散する可能性を考慮して、排出口、町田市内の浮遊塵、降下物などについての詳細な測定、評価、公表を行ってください。

5 焼却灰について：

焼却灰の安全な処理方法を検討してください。

6 復興支援は「人」を支援することで：

自主避難者も含め、福島から町田市に避難してきた人たち、これから町田市に避難してくる人たちを支援してください。

(市営住宅居住、就職活動のサポートなど、町田市独自の支援体制をつくってください)